年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 4 年 4 月 15 日

都道府県知事 殿

病院名 市立奈良病院
開設者 奈良市長 仲川 元庸

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

記入日：西暦 2022 年 4 月 15 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	050008	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ヲハ 氏名(姓) 弓場 (名) 有紀	役職 (内線 5930) (直通電話 (0742) 27 — 9502) e-mail : yuba@nara-jadecom.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>	
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シツナリョウイン 市立奈良病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 630-8305 (奈良 都・道・府・ <u>県</u>) 奈良市東紀寺町1丁目50番1号 電話：(0742) 24 — 1252 FAX：(0742) 22 — 2478 二次医療圏 の名称： 奈良保健医療圏		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ナリシ 奈良市		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 630-8580 (奈良 都・道・府・ <u>県</u>) 奈良市二条大路南1丁目1番1号 電話：(0742) 34 — 1111 FAX：(0742) 35 — 4856		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ ニシ 姓 西尾 名 ヒロシ 博至		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してく ださい。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.nara-jadecom.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：143 名、非常勤（常勤換算）：8.3 名 計（常勤換算）：151.3 名、医療法による医師の標準員数：30.1 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2022 年 1 月 5 日、告示番号：第 303 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	1. 有（97.330）m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数：5961 件（うち診療時間外：4473 件） 1日平均件数：16.3 件（うち診療時間外：12.3 件） 救急車取扱件数：4102 件（うち診療時間外：2614 件）
	診療時間外の勤務体制	医師：7 名、看護師及び准看護師：4 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系（1. 有 0. 無） 外科系（1. 有 0. 無） 小児科（1. 有 0. 無） その他（総合診療科・産婦人科・ICU CCU）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：349 床、2. 精神： 床、3. 感染症：1 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：10.2 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数：204 件、異常分娩件数：110 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績：2 回、今年度見込：4 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績：3 件、今年度見込：4 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 1. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用：20 戸、世帯用： 戸） 0. 無（住宅手当：27000 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	1. 有（1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（56.400）m ²
	医学図書数	国内図書：2500 冊、国外図書：150 冊
	医学雑誌数	国内雑誌：80 種類、国外雑誌：5 種類
	図書室の利用可能時間	00：00～24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース（1. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（1. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（00：00～24：00）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター（1. 有 0. 無）、 その他（ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ	カネサ	カヅキ		
		氏名(姓)	金政	(名)	和之	
		役職	副院長兼消化器・肝臓病センター長兼診療情報管理室長			
	診療に関する諸記録の管理方法	☒ 1. 中央管理 ☐ 2. 各科管理 その他(具体的に:)				
	診療録の保存期間	(5) 年間保存				
	診療録の保存方法	1. 文書 ☒ 2. 電子媒体 その他(具体的に:)				
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	☒ 1. 有 (1 名) ☐ 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>				
	安全管理部門の設置状況	職員：専任 (1) 名、兼任 (50) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 医療安全に関する現場の情報収集及び実態調査(現場の巡回、点検、マニュアル遵守状況) 医療安全に関する職員の啓発、広報、教育研修の企画・運営など				
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等：	フリガナ	材木	カズコ	
		氏名(姓)	大久保	(名)	和子	
		役職	総合相談課課長			
		対応時間	(08 : 30 ~ 17 : 00) 24時間表記			
		患者相談窓口に係る規約の有無：	☒ 1. 有 ☐ 0. 無			
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	☒ 1. 有 ☐ 0. 無 指針の主な内容： 基本理念、組織及び体制、安全確保を目的とした改善策、事故発生対応				
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容： アクシデントの報告・検討、インシデント事例の検討、教育研修企画				
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (2) 回 研修の主な内容： 医療安全フォーラム、医薬品安全管理研修会、教育研修等				
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備： ☒ 1. 有 ☐ 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： ○医薬品安全管理部会の設置・・・医薬品の安全管理に関する検討 ○医療機器安全管理部会の設置・・・医療機器の安全管理に関する検討					
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了： 7 名 中断： 0 名					
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>			前々年度	前年度	当該年度	
	1 年	8	8	8		
	2 年	8	8	8		
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (350) 床 ÷ 10 = (35) 名				
	患者数から算出	年間入院患者数 (8936) 人 ÷ 100 = (89.4) 名				
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。	○ 派遣実績 募集定員加算 0 名 → 0 名 ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領 25 を参照) ○地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ ☒ 無) ※ 該当する方を○で囲むこと。					

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 5 ー

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入) 市立奈良病院臨床研修プログラム		概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2020 年 4 月 15 日)		
30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入) * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		(プログラム責任者) フリガナ ヤマガチ キヨウイ 氏名(姓) 山口 氏名(名) 恭一 所属 総合診療科 役職 部長 (副プログラム責任者) 1. 有() 名) ☒ 0. 無		
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入		
32. インターネットを用いた評価システム		☒ 1. 有(・EPOC2・その他()) ☐ 0. 無		
33. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)		西暦 2023 年 4 月 1 日		
34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。		
	常勤・非常勤の別	☒ 1. 常勤 2. 非常勤		
	研修手当	一年次の支給額(税込み) 基本手当/年(5,000,000円) 賞与/年()円	二年次の支給額(税込み) 基本手当/年(5,500,000円) 賞与/年()円	
	勤務時間	時間外手当： ☒ 1. 有 ☐ 0. 無 休日手当： ☒ 1. 有 ☐ 0. 無 基本的な勤務時間(8:30 ~ 17:00) 24時間表記 休憩時間(45分間) 時間外勤務の有無： ☒ 1. 有 ☐ 0. 無		
	休暇	有給休暇(1年次：10日、2年次：11日) 夏季休暇 ☒ 1. 有 ☐ 0. 無 年末年始 ☒ 1. 有 ☐ 0. 無 その他休暇(具体的に：結婚休暇、忌引等)		
	当直	回数(約4回/月)		
	研修医の宿舍(再掲)	☒ 1. 有(単身用：20戸、世帯用：0戸) ☐ 0. 無(住宅手当：)円 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。		
	研修医室(再掲)	☒ 1. 有(1室) ☐ 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。		
	社会保険・労働保険	公的医療保険(JADECOROM けんぽ) 公的年金保険(厚生年金) 労働者災害補償保険法の適用 ☒ 1. 有 ☐ 0. 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 ☒ 0. 無) 雇用保険 ☒ 1. 有 ☐ 0. 無		
	健康管理	健康診断(年2回) その他(具体的に)		
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 ☒ 1. する ☐ 0. しない 個人加入(1. 強制 ☒ 0. 任意)		
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加： ☒ 1. 可 ☐ 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無： ☒ 1. 有 ☐ 0. 無		
	35. 研修医手帳(基幹型記入)		1. 有 ☒ 0. 無	
	36. 連携状況(基幹型記入)		* 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること)。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない)。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
 - (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
 - (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
 - (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
 - (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうち来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
 - (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
 - (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
 - (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
 - 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について
- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

こと。

(2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。

(3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。

20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について

(1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。

(2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。

21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について

(1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。

(2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。

22 「病歴管理体制」欄について

(1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。

(2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。

23 「医療安全管理体制」欄について

(1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。

(2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。

(3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。

24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（ $\div 10$ ）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（ $\div 100$ ）の双方とも記入すること。

25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。

26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。

27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。

28 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

29 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

(1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

(2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

(3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

(4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

(5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

30 「研修医の処遇」欄について

(1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。

(2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

(3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。

(4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

- (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(2021年度開催回数 2回)

構成員の氏名等 病院施設番号: 050008 臨床研修病院の名称: 市立奈良病院

氏名		役職	備考
ヤマグチ キョウイチ 山口 恭一	市立奈良病院	総合診療科部長兼研修医室長	プログラム責任者 研修管理委員長 指導医
ホリイ マナブ 堀井 学	市立奈良病院	循環器内科部長	研修管理副委員長 指導医
ニシオ ヒロシ 西尾 博至	市立奈良病院	管理者	指導医
シモカワ ミツル 下川 充	市立奈良病院	院長	指導医
ヤブタ マタヒロ 藪田 又弘	市立奈良病院	糖尿病内科医師	指導医
タカハシ ノブユキ 高橋 信行	市立奈良病院	院長補佐兼脳神経内科部長	指導医
カネマサ カズユキ 金政 和之	市立奈良病院	院長補佐兼消化器肝臓病センター長	指導医
ヒシヤ ナオクニ 菱矢 直邦	市立奈良病院	感染制御内科医師	指導医
タケシタ ヤスフミ 竹下 泰史	市立奈良病院	小児科部長	指導医
ナカセ ユウエン 中瀬 有遠	市立奈良病院	外科・消化器外科部長	指導医
カワハラ イクオ 河原 郁生	市立奈良病院	整形外科部長	指導医
トクナガ ヒデモリ 徳永 英守	市立奈良病院	脳卒中センター長	指導医
カツミ サチコ 勝見 祥子	市立奈良病院	皮膚科部長	指導医
オカジマ エイジロウ 岡島 英二郎	市立奈良病院	泌尿器科部長	指導医
ハラダ ナオヤ 原田 直哉	市立奈良病院	産婦人科部長	指導医
イジュウイン ノブオ 伊集院 信夫	市立奈良病院	眼科部長	指導医
オカモト ヒデユキ 岡本 英之	市立奈良病院	耳鼻いんこう科部長	指導医
アナイ ヒロシ 穴井 洋	市立奈良病院	放射線科部長	指導医
カワラグチ ヨシタカ 瓦口 至孝	市立奈良病院	周術期管理センター長兼中央手術部長 兼麻酔科部長	指導医
ゴトウ ヤスノブ 後藤 安宣	市立奈良病院	救急集中治療センター長	指導医
コウノ ヒロミ 幸野 浩美	市立奈良病院	看護部部長	

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(2021年度開催回数 2回)

構成員の氏名等 病院施設番号: 050008 臨床研修病院の名称: 市立奈良病院

氏名	氏名	役職	備考
マエダ	アキラ	市立奈良病院 事務次長	事務部門責任者
前田	昭		
マツモト	ジュンコ	市立奈良病院 総務課	
松本	順子		
ユバ	ユキ	市立奈良病院 研修医室	
弓場	有紀		
トシミツ	アキオ	市立奈良病院 京都大学名誉教授	外部委員
年光	昭夫		
ナカタニ	タクル	平和会 吉田病院 副院長	研修実施責任者 指導医
中谷	琢		
イノウエ	マコト	やまと精神医療センター 院長	研修実施責任者 指導医
井上	眞		
キクチ	アツシ	医療法人向聖台会 當麻病院 院長	研修実施責任者 指導医
菊池	厚		
ソノダ	ヨシヒデ	奈良市立月ヶ瀬診療所 管理者	研修実施責任者 指導医
園田	良英		
ニシムラ	マサヒロ	奈良市立都祁診療所 管理者	研修実施責任者 指導医
西村	正大		
シマ	マサユキ	奈良市立柳生診療所 管理者	研修実施責任者 指導医
島	正幸		
サガラ	ヨウゾウ	奈良市立田原診療所 管理者	研修実施責任者 指導医
相良	洋三		
タケダ	イチロウ	明日香村国民健康保険診療所 管理者	研修実施責任者 指導医
武田	以知郎		
オオスミ	シュウジ	山添村国民健康保険東山診療所 所長	研修実施責任者 指導医
大住	周司		
フナコシ	トモフミ	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属渡名喜診療所 医師	研修実施責任者 指導医
富名腰	朝史		
ヨコタ	シュウイチ	揖斐郡北西部地域医療センター センター長	研修実施責任者 指導医
横田	修一		
カワラダ	ヒサシ	東通村診療所 所長	研修実施責任者 指導医
川原田	恒		
フセダ	テツヤ	公立丹南病院 病院長	研修実施責任者 指導医
布施田	哲也		
ヤシマ	ハルミツ	磐梯町保健医療福祉センター センター長	研修実施責任者 指導医
屋島	治光		
イノウエ	ヨウスケ	町立湯沢病院(湯沢町保健医療センター) 管理者	研修実施責任者 指導医
井上	陽介		
ヤマダ	セイシ	市立恵那病院 内科部長	研修実施責任者 指導医
山田	誠史		
ミヤザキ	マサル	東京北医療センター 臨床研修センター長	研修実施責任者 指導医
宮崎	勝		
ウスイ	ツネヒト	地域包括ケアセンターいぶき 医局長	研修実施責任者 指導医
臼井	恒仁		
ホリエ	ヒデユキ	おおい町保健・医療・福祉総合施設 診療所 施設長	研修実施責任者
堀江	秀行		

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数(2021年度開催回数 2回)

構成員の氏名等 病院施設番号: 050008 臨床研修病院の名称: 市立奈良病院

氏名			役職	備考
タケトミ	アキラ	飯塚市立病院	管理者	研修実施責任者 指導医
武富	章			
ノナカ	カズキ	市立大村市民病院	副院長	研修実施責任者 指導医
野中	和樹			
フジワラ	ナオキ	台東区立台東病院	副管理者	研修実施責任者 指導医
藤原	直樹			
ヒラオカ	エイジ	東京ベイ・浦安市川医療センター	副センター長	研修実施責任者 指導医
平岡	栄治			
ヒロタ	トシオ	関市国民健康保険津保川診療所	管理者	研修実施責任者 指導医
廣田	俊夫			
ナガタ	マサキ	十勝いけだ地域医療センター	管理者	研修実施責任者 指導医
長田	雅樹			
サイトウ	ミツル	女川町地域医療センター	センター長	研修実施責任者 指導医
齋藤	充			
エバシ	マサヒロ	与那国町診療所	所長兼管理者	研修実施責任者
江橋	正浩			
アライ	マサヒロ	練馬光が丘病院	副病院長	研修実施責任者 指導医
新井	雅裕			
ネモト	トモユキ	越前町国民健康保険織田病院	副病院長	研修実施責任者
根本	朋幸			
フルハシ	タケヒコ	三重県立志摩病院	医師	研修実施責任者 指導医
古橋	健彦			
ヨナハ	ショウ	公立久米島病院	医長	研修実施責任者
与那覇	翔			
マツオカ	フミヒコ	六ヶ所村地域家庭医療センター	センター長	研修実施責任者 指導医
松岡	史彦			
ナカムラ	ヤスユキ	近江診療所	センター長	研修実施責任者 指導医
中村	泰之			

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

別紙2

臨床研修病院の名称：市立奈良病院
 病院施設番号： 050008

区分	内科	救急部門	外科	(麻酔科 部門)	小児科	産婦人科	又は		精神科	その他の研修を行う診療科							合計
							産科	婦人科		皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科	その他	集中治療部 (再掲)	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	2,762	1,106 (5961)	2,442		570	740 (314)	()		0	86	353	622	243	12		211	8,936
年間新外来患者数	4,131	3,354	3,864		1,358	762			0	815	410	802	1,101	247			16,844
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	220.5 (293)	36.0 (293)	185.0 (293)		21.7 (293)	43.3 (293)	()	()	0.0 (293)	32.8 (293)	24.4 (293)	34.1 (293)	25.4 (293)	13.7 (293)	(293)		
平均在院日数	12.7	12.2	12.2		4.2	7.3			0.0	10.6	6.9	3.3	7.9	4.32		2.4	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	32 (20)	15 (7)	33 (16)	7 (4)	6 (4)	6 (3)	()	()	()	3 (1)	3 (2)	4 ()	4 (3)	5 (1)	1 (1)	3 (2)	122 (64)

※ 「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「その他の研修を行う診療科」欄が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、9.の救急医療の実績の前年度の件数及び13.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器科、消化器科、循環器科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号: _____

施設番号: 050008 臨床研修病院の名称: 市立奈良病院

臨床研修病院群番号: _____ 臨床研修病院群名: _____

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	2023年度 市立奈良病院臨床研修プログラム
2. 研修プログラムの特色	当院では「基本的臨床能力のある医師」として将来に専門医として活躍できるよう、臨床研修の開始から一貫して、外科、小児科、産婦人科、麻酔科も必須研修とするプログラムをとっている。ローテ以外の勉強会も積極的に行い、研修医は主体性のある2年間の研修生活を送る。また、病院内での医療だけでなく、より生活に密着した医療を経験するために3か月間の地域研修を行う点も特色である。
3. 臨床研修の目標の概要	将来、いずれの専門医になる場合でも、「病気も人も診る医師」となること、将来にわたり学びを大切にする「autonomy」を身に付けることを目標としている。研修センター、および、研修医自身が中心となり、研修医のニーズに応じた目標、研修内容となっている点も特徴である。
4. 研修期間	(2)年 (原則として、「2年」と記入してください。)
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 内科・総合診療科・救急科・整形外科・形成外科 専門研修プログラムあり

5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設(研修分野ごとの研修期間)						
		病院 施設番号	病院又は施設の名称	研修 期間		内一般 外来		
内科	050008	市立奈良病院	28	週	一般外来	0	週	
救急部門	050008	市立奈良病院	8	週	一般外来	0	週	
外科	050008	市立奈良病院	8	週	一般外来	0	週	
小児科	050008	市立奈良病院	8	週	一般外来	0	週	
産婦人科	050008	市立奈良病院	4	週	一般外来	0	週	
精神科	030911	三重県立志摩病院	4	週	一般外来	0	週	
	031845	平和会吉田病院						
	031850	當麻病院						
	031853	やまと精神医療センター						
地域医療	031547	町立湯沢病院(湯沢町保健医療センター)	12	週	一般外来	4	週	
					在宅診療	1	週	
	032378	公立丹南病院			一般外来	4	週	
					在宅診療	1	週	
	040007	市立恵那病院			一般外来	4	週	
					在宅診療	1	週	
	100005	台東区立台東病院			一般外来	4	週	
					在宅診療	1	週	
	031216	女川町地域医療センター			一般外来	4	週	
					在宅診療	1	週	
	031589	越前町国民健康保険織田病院			一般外来	4	週	
					在宅診療	1	週	
	033347	揖斐郡北西部地域医療センター			一般外来	4	週	
					在宅診療	1	週	
034228	与那国町診療所	一般外来	4	週				
		在宅診療	1	週				
034261	一部事務組合下北医療センター 東通村診療所	一般外来	4	週				
		在宅診療	1	週				
034339	磐梯町保健医療福祉センター	一般外来	4	週				
		在宅診療	1	週				
034649	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 附属渡名喜診療所	一般外来	4	週				
		在宅診療	1	週				
034962	公立久米島病院	一般外来	4	週				
		在宅診療	1	週				
041064	六ヶ所村地域家庭医療センター	一般外来	4	週				
		在宅診療	1	週				
056162	山添村国民健康保険東山診療所	一般外来	4	週				
		在宅診療	1	週				

		056162	山添村国民健康保険東山診療所					
		056745	奈良市立月ヶ瀬診療所					
		056746	奈良市立都祁診療所					
		066420	おおい町保健・医療・福祉総合施設					
		066767	地域包括ケアセンターいぶき					
		086181	奈良市立田原診療所					
		086182	奈良市立柳生診療所					
		106041	近江診療所					
		106209	明日香村国民健康保険診療所					
		116456	十勝いけだ地域医療センター					
		126865	関市国民健康保険津保川診療所					
病 院 で 定 め た 必 修 科 目	整形外科	050008	市立奈良病院	4	週	一般外来	0	週
	麻酔科	050008	市立奈良病院	8				
選 択 科 目	総合診療科	050008	市立奈良病院	12	週	一般外来	0	週
		031547	町立湯沢病院(湯沢町保健医療センター)					
		100005	台東区立台東病院					
	内科	050008	市立奈良病院					
		031547	町立湯沢病院(湯沢町保健医療センター)					
		032347	市立大村市民病院					
		032378	公立丹南病院					
		040003	東京北医療センター					
		040007	市立恵那病院					
		070024	飯塚市立病院					
		100005	台東区立台東病院					
		100004	東京ベイ・浦安市川医療センター					
		120009	練馬光が丘病院					
	小児科	050008	市立奈良病院					
	産婦人科	050008	市立奈良病院					
	外科	050008	市立奈良病院					
	整形外科	050008	市立奈良病院					
	脳神経外科	050008	市立奈良病院					
	形成外科	050008	市立奈良病院					
	皮膚科	050008	市立奈良病院					
	泌尿器科	050008	市立奈良病院					
	眼科	050008	市立奈良病院					
	耳鼻いんこう科	050008	市立奈良病院					
放射線科	050008	市立奈良病院						
麻酔科	050008	市立奈良病院						
ICU	050008	市立奈良病院						
病理診断科	050008	市立奈良病院						

備考	<ul style="list-style-type: none">・基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 <u>52</u> 週・臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 <u>12</u> 週（ただし、へき地・離島研修はこの限りではない。）・救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・ <u>4</u> 週 ※ただし4週を上限とする・一般外来を行う診療科・・・地域医療 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること・当直業務については、ローテート診療科とは関係なく、通年にて毎月約4回程度総合診療科指導医のもと当直業務を行う。但し、小児科、産婦人科ローテート時は各々の診療科にて当直業務を行う。
----	---

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号：050008
臨床研修病院群番号：

臨床研修病院の名称：市立奈良病院
臨床研修病院群名：

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 _____

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野	1~4 週	5~8 週	9~12 週	13~16 週	17~20 週	21~24 週	25~28 週	29~32 週	33~36 週	37~40 週	41~44 週	45~48 週	49~52 週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科		3											
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
市立奈良病院 (050008)	内科	7	7	5	4	5	5	4	4	3	3	3	2	
市立奈良病院 (050008)	救急	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	
市立奈良病院 (050008)	外科			1				1	1				2	
市立奈良病院 (050008)	整形外科				1		1	1			1			
市立奈良病院 (050008)	小児科									1	1	1	1	
市立奈良病院 (050008)	産婦人科							1		1			1	
市立奈良病院 (050008)	麻酔科									1	1	1	1	
十勝いけだ地域医療センター (116456)	地域医療								1	1				
湯沢町保健医療センター (031547)	地域医療										1			
台東区立台東病院 (100005)	地域医療				1	1							1	
与那国町診療所 (034228)	地域医療								1					
揖斐郡北西部地域医療セン ター (033347)	地域医療												1	

* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。
* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。
* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

2022/4/30

3 1. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
救急科 (総合診療科)	山口 恭一	市立奈良病院	総合診療科部長兼研修医室長	25年0月	○	日本内科学会認定専門医 日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医 平成18年度天理よろづ相談所病院臨床研修指導医講習会受講 平成26年度プログラム責任者養成講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	1 3 4
救急科 (総合診療科)	西尾 博至	市立奈良病院	管理者	32年11月	○	日本救急医学会専門医 第4回JADECOM指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
外科	稲葉 征四郎	市立奈良病院	名誉院長	52年5月	○	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本大腸肛門学会専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 第4回JADECOM指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
脳神経外科	二階堂 雄次	市立奈良病院	名誉院長	46年10月	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 日本医師会認定産業医 第4回JADECOM指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
整形外科	矢島 弘嗣	市立奈良病院	名誉院長	42年11月	○	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定リウマチ医 日本手の外科学会専門医 第7回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
麻酔科	下川 充	市立奈良病院	院長	38年11月	○	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会指導医・専門医 日本蘇生学会指導医 日本集中治療医学会専門医 平成18年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講 医療研修推進財団平成30年度プログラム責任者養成講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

3 1. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
形成外科	久徳 茂雄	市立奈良病院	副院長兼形成外科部長	34年11月	○	日本形成外科学会専門医 日本救急医学会救急科専門医 日本褥瘡学会認定師 日本熱傷学会熱傷専門医 日本頭蓋顎顔面外科学会専門医 日本創傷外科学会専門医 日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 インフェクションコントロールドクター (ICD) 第11回大阪医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
外科・消化器外科	菅沼 泰	市立奈良病院	副院長兼外科・消化器外科部長	34年11月	○	日本外科学会外科専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会認定医 臨床研修指導者養成課程講習会受講(2007年)	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
循環器内科	堀井 学	市立奈良病院	副院長兼循環器内科部長	28年11月	○	日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション学会専門医 日本救急医学会専門医 日本内科学会認定内科医 平成20年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
乳腺センター(外科)	小山 拓史	市立奈良病院	副院長兼乳腺センター長	33年11月	○	日本外科学会専門医 日本乳癌学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会認定医 日本医師会認定産業医 日本がん治療認証医機構がん治療認定医、暫定教育医 第9回JADECOSM指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
整形外科	村田 景一	市立奈良病院	副院長兼四肢外傷センター長	29年11月	○	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会手外科専門医 平成18年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
脳神経内科	高橋 信行	市立奈良病院	院長補佐兼脳神経内科部長	36年10月	○	日本内科学会認定内科医 日本神経学会専門医 日本神経学会指導医 第4回JADECOSM指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
消化器内科	金政 和之	市立奈良病院	院長補佐兼消化器肝臓病センター長	33年11月	○	日本内科学会認定総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本医師会認定産業医 第4回JADECOSM指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

2022/4/30

3 1. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
糖尿病内科	藪田 又弘	市立奈良病院	糖尿病内科医師	41年10月	○	日本内科学会認定内科医 日本循環器学会専門医 日本糖尿病学会専門医・指導医 日本透析医学会専門医 日本医師会認定産業医 第4回JADECOM指導医講習会受講 日本体育協会公認スポーツドクター	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
脳神経内科	池田 真徳	市立奈良病院	脳神経内科医長	17年0月	○	第16回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
脳神経内科	熊澤 綾	市立奈良病院	脳神経内科医師	18年11月	○	日本内科学会認定 日本医師会認定産業医 日本神経学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 第15回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
脳神経内科	正畠 良悟	市立奈良病院	脳神経内科医長	14年0月	○	日本内科学会認定内科医 日本神経学会神経内科専門医 平成29年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
消化器内科	田中 斉祐	市立奈良病院	消化器内科部長	28年0月	○	日本消化器病学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会肝臓専門医 第20回新臨床研修指導医養成講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
消化器内科	北村 陽子	市立奈良病院	消化器内科医長	23年11月	○	日本消化器病学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器内視鏡学会内視鏡専門医 日本消化器内視鏡学会内視鏡指導医 日本食道学会日本食道科認定医 第10回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
消化器内科	森 康二郎	市立奈良病院	消化器内科医長	24年0月	○	日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会認定肝臓専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 第13回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

2022/4/30

3 1. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
消化器内科	奥田 隆史	市立奈良病院	消化器内科医 長	22年0月	○	日本内科学会総合内科専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本消化器病学会消化器病専門医 第12回京都府立医科大学附属病院 指導医講習会	市立奈良病院臨床 研修プログラム 4	
消化器内科	福本 晃平	市立奈良病院	消化器内科医 長	18年11月	○	日本消化器病学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会内視鏡専門 医 第10回JADECOM地域志向型指導医講 習会受講	市立奈良病院臨床 研修プログラム 4	
消化器内科	岸埜 高明	市立奈良病院	消化器内科医 長	17年11月	○	日本内科学会認定内科医 第13回JADECOM地域志向型指導医講 習会受講	市立奈良病院臨床 研修プログラム 4	
循環器内科	山本 雄太	市立奈良病院	循環器内科医 長	28年11月	○	日本内科学会認定内科医 平成30年度奈良医大臨床研修指導 医講習会受講	市立奈良病院臨床 研修プログラム 4	
循環器内科	榎本 理史	市立奈良病院	循環器内科医 長	17年0月	○	日本内科学会認定医 日本心血管インターベンション治 療学会認定医 第152回臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床 研修プログラム 4	
循環器内科	杉本 雅史	市立奈良病院	循環器内科医 師	11年11月	○	日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 平成29年指導医のための教育ワー クショップ(大阪府医師会主催)受 講	市立奈良病院臨床 研修プログラム 4	
呼吸器内科	児山 紀子	市立奈良病院	呼吸器内科部 長	25年11月	○	日本内科学会認定医 日本呼吸器学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療 認定医(2011年) 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡專 門医 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指 導医 日本内科学会総合内科専門医 医学博士 平成25年奈良医大臨床研修指導医 講習会受講	市立奈良病院臨床 研修プログラム 4	

2022/4/30

3 1. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
腎臓内科	西谷 喜治	市立奈良病院	腎臓内科部長	25年11月	○	医学博士 日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本感染症学会インフェクションコントロールドクター 日本医師会認定産業医 平成17年天理よろづ相談所病院臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
リウマチ・膠原病内科	高岸 勝繁	市立奈良病院	リウマチ・膠原病内科医長	15年0月	○	日本医師会第13回指導医のための教育ワークショップ（平成28年10月）	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
血液・腫瘍内科	金子 直也	市立奈良病院	血液・腫瘍内科医師	10年0月	○	日本内科学会認定内科医 日本血液学会認定血液専門医 第16回東京大学医学部附属病院指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
小児科	竹下 泰史	市立奈良病院	小児科部長	12年0月	○	日本小児科学会小児科専門医 平成23年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
小児科	矢追 博章	市立奈良病院	小児科医長	14年0月	○	日本小児科学会専門医 医学博士 第16回JADECOM地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
小児科	大塚 敬太	市立奈良病院	小児科医師	12年0月	○	日本小児科学会小児科専門医 第15回JADECOM地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
小児科	平 康二	市立奈良病院	小児科医師	42年10月	○	日本小児科学会専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本腎臓学会認定指導医 平成17年奈良県医師会指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

3 1. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科・消化器外科	中瀬 有遠	市立奈良病院	外科・消化器外科部長	25年11月	○	日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本外科学会指導医 日本外科学会外科専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 第10回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
外科・消化器外科	西村 幸寿	市立奈良病院	外科・消化器外科医長	18年0月	○	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本病院会平成29年度第3回臨床研修指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
外科・消化器外科	中島 慎吾	市立奈良病院	外科・消化器外科医長	17年0月	○	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会指導医 第16回JADECOM地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
外科・消化器外科	宮前 真人	市立奈良病院	外科・消化器外科医長	15年0月	○	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 第15回JADECOM地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
呼吸器外科	寺内 邦彦	市立奈良病院	呼吸器外科部長	25年0月	○	日本外科学会専門医 呼吸器外科専門医 日本がん治療認定医 平成21年度第3回京都府立医科大学附属病院指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
形成外科	大谷 一弘	市立奈良病院	形成外科医長	20年11月	○	日本形成外科学会専門医 第10回大阪医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
整形外科	伊藤 嘉彦	市立奈良病院	四肢外傷センター医師	11年1月	○	日本整形外科専門医 日本救急外科専門医 第15回JADECOM地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

31. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
整形外科	岩田 栄一郎	市立奈良病院	整形外科医長	18年11月	○	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会脊椎脊髄病医 日本整形外科学会リウマチ医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医 医学博士 第11回研修指導者講習会（日本整形外科学会）2016年受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
脳神経外科	徳永 英守	市立奈良病院	脳卒中センター長	34年10月	○	日本脳神経外科学会脳神経外科専門医 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医 日本静脈経腸栄養学会認定医 平成27年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
皮膚科	勝見 祥子	市立奈良病院	皮膚科部長	26年10月	○	日本皮膚科学会専門医 平成21年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
泌尿器科	岡島 英二郎	市立奈良病院	泌尿器科部長	29年9月	○	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 平成19年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
泌尿器科	松村 善昭	市立奈良病院	泌尿器科部長	22年11月	○	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医 日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定 日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 第15回MMC指導医養成講習会修了	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
産婦人科	原田 直哉	市立奈良病院	産婦人科部長	30年11月	○	母体保護法指定医 日本産婦人学会専門医 第6回JADECOP指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
産婦人科	延原 一郎	市立奈良病院	産婦人科部長	28年11月	○	母体保護法指定医 日本産婦人学会専門医 平成26年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

2022/4/30

31. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
産婦人科	藤井 肇	市立奈良病院	産婦人科医長	18年11月	○	母体保護法指定医 日本プライマリ・ケア連合学会認定プライマリ・ケア認定医 日本産科婦人科学会産婦人科専門医 第15回JADECOC地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
耳鼻いんこう科	岡本 英之	市立奈良病院	耳鼻いんこう科部長	32年10月	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本がん治療認定医 日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医 医学博士 平成27年度奈良医大臨床研修指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
耳鼻いんこう科	城田 志保	市立奈良病院	耳鼻いんこう科医師	19年11月	○	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医 第12回JADECOC地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
耳鼻いんこう科	大塚 進太郎	市立奈良病院	耳鼻いんこう科医師	9年1月	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医 第16回JADECOC地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
放射線科	日高 晶子	市立奈良病院	放射線科医長	25年11月	○	日本医学放射線学会専門医 日本核医学会核医学専門医 日本医学放射線学会研修指導者 検診マンモグラフィ読影認定医 平成25年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
麻酔科	瓦口 至孝	市立奈良病院	周術期管理センター長兼麻酔科部長	25年0月	○	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会専門医・指導医 日本集中治療医学会集中治療専門医 日本小児麻酔学会小児麻酔認定医 平成24年度奈良医大臨床研修指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
麻酔科	岡本 亜紀	市立奈良病院	麻酔科医長	17年11月	○	日本麻酔科学会専門医 第15回JADECOC地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
麻酔科	西和田 史子	市立奈良病院	麻酔科医長	17年0月	○	麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定医 日本麻酔科学会専門医 第15回JADECOC地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

2022/4/30

31. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
救急・集中治療科	後藤 安宣	市立奈良病院	救急・集中治療科部長	26年0月	○	日本蘇生学会指導医 日本集中治療医学会ICD認定医 麻酔科標榜医 日本集中治療医学会専門医 日本麻酔科学会専門医 日本麻酔科学会指導医 日本救急医学会救急科専門医 第12回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
救急・集中治療科	川口 竜助	市立奈良病院	救急・集中治療科部長	23年11月	○	日本救急医学会救急科専門医 日本講習衛生学会専門医 第10回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
救急科 (総合診療科)	安藤 剛	市立奈良病院	総合診療科医 長	16年0月	○	日本内科学会認定内科医 第11回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
救急科 (総合診療科)	藤田 直己	市立奈良病院	総合診療科医 師	12年0月	○	日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医 第13回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
救急科 (総合診療科)	森川 暢	市立奈良病院	総合診療科医 師	12年0月	○	日本内科学会認定内科医 日本病院総合診療医学会認定病院 総合診療医 日本プライマリ・ケア連合学会認定 プライマリ・ケア認定医 第14回東京大学医学部附属病院指 導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
救急科 (総合診療科)	井上 博人	市立奈良病院	総合診療科医 師	10年1月	○	第14回JADECOM地域志向型指導医講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4
救急科 (総合診療科)	小林 郁絵	市立奈良病院	総合診療科医 師	11年11月	○	日本内科学会認定医 第15回JADECOM地域志向型指導医講習会	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

2022/4/30

3 1. 指導医等の氏名等

病院施設番号： 050008

臨床研修病院の名称： 市立奈良病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
病理診断科	島田 啓司	市立奈良病院	病理診断科部長	26年11月	○	医学博士 死体解剖資格 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本臨床細胞学会細胞診指導医 日本病理学会病理専門医 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会教育研修指導医 令和元年度奈良医大臨床研修指導医養成講習会受講	市立奈良病院臨床研修プログラム	4

7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）： 市立奈良病院 （ 奈良県 ）

申請の概要（当てはまるものに○を付けてください）

- 1. 協力型病院から基幹型病院となるもの
- 2. 病院群の構成の変更を行うもの

基幹型病院				協力型病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
奈良県	奈良保健医療圏	市立奈良病院 (病院施設番号: 050008)		三重県	南勢志摩2次保健医療圏		三重県立志摩病院 (病院施設番号: 030911)		宮城県	石巻医療圏		女川町地域医療センター (病院施設番号: 031216)		市立奈良病院臨床研修プログラム	8
				新潟県	魚沼医療圏		町立湯沢病院(湯沢町保健医療センター) (病院施設番号: 031547)		福井県	福井県丹南医療圏		越前町国民健康保険織田病院 (病院施設番号: 031589)			
				奈良県	奈良保健医療圏		平和会吉田病院 (病院施設番号: 031845)		岐阜県	西濃圏域		揖斐郡北西部地域医療センター (病院施設番号: 033347)			
				奈良県	中和保健医療圏		医療法人向聖台会 當麻病院 (病院施設番号: 031850)		沖縄県	八重山医療圏		与那国町診療所 (病院施設番号: 034228)			
				奈良県	西和保健医療圏		やまと精神医療センター (病院施設番号: 031853)		青森県	下北地域保健医療圏		一部事務組合下北医療センター 東通村診療所 (病院施設番号: 034261)			
				長崎県	央地域保健医療圏		市立大村市民病院 (病院施設番号: 032347)		福島県	会津医療圏		磐梯町保健医療福祉センター (病院施設番号: 034339)			
				福井県	福井県丹南医療圏		公立丹南病院 (病院施設番号: 032378)		沖縄県	南部医療圏		沖縄県立南部医療センター・こども医療センター附属渡名喜診療所 (病院施設番号: 034649)			
				東京都	区西北部二次保健医療圏		東京北医療センター (病院施設番号: 040003)		沖縄県	南部医療圏		公立久米島病院 (病院施設番号: 034962)			
				岐阜県	東濃二次保健医療圏		市立恵那病院 (病院施設番号: 040007)		青森県	上十三地域保健医療圏		六ヶ所村地域家庭医療センター (病院施設番号:041064)			
				福岡県	飯塚医療圏		飯塚市立病院 (病院施設番号: 070024)		奈良県	東和医療圏		山添村国民健康保険東山診療所 (病院施設番号: 056162)			
				千葉県	東葛南部保健医療圏		東京ベイ・浦安市川医療センター (病院施設番号: 100004)		奈良県	奈良医療圏		奈良市立月ヶ瀬診療所 (病院施設番号: 056745)			
				東京都	区中央部保健医療圏		台東区立台東病院 (病院施設番号: 100005)		奈良県	奈良医療圏		奈良市立都祁診療所 (病院施設番号: 056746)			
				東京都	区西北部二次保健医療圏		練馬光が丘病院 (病院施設番号: 120009)		福井県	嶺南医療圏		おおい町保健・医療・福祉総合施設 (病院施設番号: 066420)			
									滋賀県	湖北医療圏		地域包括ケアセンターいぶき (病院施設番号: 066757)			
									奈良県	奈良医療圏		奈良市立田原診療所 (病院施設番号: 086181)			
						奈良県	奈良医療圏		奈良市立柳生診療所 (病院施設番号: 086182)						
						奈良県	中和医療圏		明日香村国民健康保険診療所 (病院施設番号: 106209)						

基幹型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
									北海道	十勝医療圏		十勝いけだ地域医療センター (病院施設番号: 116456)			
									岐阜県	中濃圏域		関市国民健康保険津保川診療所 (病院施設番号: 126865)			
									滋賀県	湖北医療圏		近江診療所 (病院施設番号: 106041)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

・病院群については、ほとんどが地域医療振興協会の同グループの運営施設であるため、施設間同士の連携や方向性の統一は出来ており、十分な指導體制のもとで様々な経験や能力形成が可能であり、基本的な診療能力を身につけることのできる良質な研修が見込まれるためである。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。